

「こんなの、もう嫌いやだ。ぼくは悪い子だ。いい子になれるかどうか、わかんないや」

ナゲキバト

ラリー・バークダル／著 片岡
(かたおか)しのぶ／訳 あす
なる書房 127p F3/バ

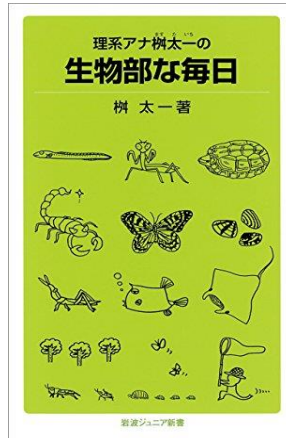


私は9歳のとき、両親を事故で亡くし、アイダホ州にすむ祖父にひきとられました。やさしく、ときにはきびしい祖父でしたが、私は祖父の話を聞くのが大好きでした。そんな祖父にも、思いがけない秘密があったのです……。

「自分が得意なのは、“自分の好きなことを人に伝えること”」

理系アナ樹太一の生物部な毎日

樹 太一(ます たいち)／著
岩波書店(ジュニア新書)
201p TE/28/マ



ムシに目覚めた少年時代、アナゴ三昧(ざんまい)の大学時代を経て、アサリ漬けの大学院生は、卒業後ついに理系アナとして人気No.1 となります。生き物とともに成長してきた理系魂を語ります。



Teens向き

ふゆやす としよ 2020年冬休みすいせん図書

ふゆやす どくしよ
冬休みは、どっぷり読書!!
おお いそ ちよう りつ と しよ かん
大磯町立図書館

0463-61-3002

「わたしのいる場所はあたたかく、目を閉じればそのまま眠ってしまいそうだった」

星の子

今村 夏子(いまむら なつこ)／著
朝日新聞出版(朝日文庫) 255p B/F/4



林ちひろは、中学3年生。病弱だったちひろを救うため、両親は「あやしい宗教」にのめり込みます。そのうち家族の間にゆがみが生じますが、ちひろはそれでも両親を信じていました。芦田愛菜(あしたまな)主演、2020年映画化。

「古関の音楽は、人を明るく元気にする魔法だ」

きみに応援歌(エール)を 古関裕而(こせき ゆうじ)物語

大野 益弘(おおの ますひろ)／著
講談社 221p TE/76/コ

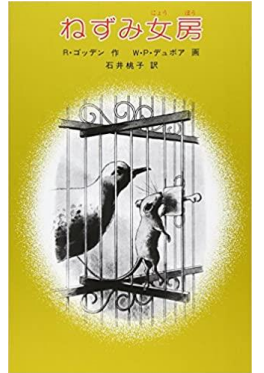


古関裕而は1909(明治42)年福島県生まれ。音楽を独学で学び、5000以上の曲を世に送り出しました。特に早稲田(わせだ)大学の応援歌、夏の甲子園大会・東京オリンピック開会式の行進曲は有名。好きな音楽を仕事にしながらの喜びと苦悩(くのう)を描きます。2020年NHK朝の連続テレビドラマ化。

「めすねずみは、まだ、いまもっていない、何かが、ほしかったのです」

ねずみ女房(にょうぼう)

ルーマー・ゴッデン／作 W・
P・デュボア／画 石井桃子／訳
福音館書店 48p F3/コ



ある家に、一ぴきの小さなめすねずみがいました。ある日、ハトがやってきましたが、かごに入れられ、豆のえさを食べません。弱っていくハトのために、めすねずみはパンくずなど運び、外の世界の話を聞きます。もはや、めすねずみは、ほかのねずみとは、ちがいました。そしてついに、めすねずみは、ハトのかごのとめ金にぶら下がり……。

「あきらめる勇気があったんだ。続ける恐怖なんてきつと乗り越えられる」

タスキメシ

額賀 滯(ぬかが みお)／著
小学館 301p F/ヌ



早馬(そうま)と春馬(はるま)の兄弟は、高校の陸上部に所属、練習に励む毎日でした。しかし早馬が怪我をしてリハビリ中、のはずが料理に目覚め、春馬の食生活改善に取り組みます。やがて、早馬は陸上部を引退し管理栄養士をめざして進学、春馬は順調に記録を伸ばします。早馬は陸上に再び取り組み、箱根駅伝を夢見ますが……。

